

珠洲市現地連絡所情報連絡員

(1) 主な活動（1月6日～11日）

- ・ 珠洲市の災害対策に係わる情報収集（各部門代表者会議等）、ニーズの把握及び支援の調整
- ・ 避難所運営支援に関する関係自治体との調整及び支援開始のサポート
- ・ 物資支援及びトイレカー（南あわじ市）支援等の調整
- ・ 兵庫県庁支援本部等との連絡調整

(2) 課題・現地ニーズ等

- ・ 一般車両が通行可能な道路の確保
- ・ 電力、上下水道等のインフラの壊滅的被害への応急対応
- ・ 1.5次、2次避難所への孤立集落、要配慮者等の移送の推進
- ・ 避難長期化に伴う生活環境の改善、こころのケアなど避難者ニーズの継続的な把握と対応
- ・ 応急仮設住宅の建設推進、今後発生見込みの災害廃棄物等への対応



代表者会議の様子



道路に浮いたマンホール



電力被害



健康増進センターへトイレカー設置



珠洲市立健民体育館
(支援物資集積拠点)



地震により倒壊した建物

兵庫県チーム避難所支援チーム（珠洲市健民体育館）第1陣

（兵庫県職員10人、神戸市職員6人）

1 主な活動（1月7～13日）

- ・石川県珠洲市全体の避難所の実態、支援ニーズの把握
- ・避難所訪問に関しては、兵庫県が他府県市職員を含めて統括。
12日は15チーム（県9、神戸6、南あわじ1、福井県・鯖江市2、船橋市1、浜松市8、熊本4+女性3）



2 珠洲市の被災状況

- ・珠洲市全域で、地震動による面的な建物の崩壊、道路の寸断
- ・道路の仮復旧が急速に進展。北部の大谷地区を除き、派遣車両でも殆どの避難所にアクセス可能。他方、豪雪による車両の運行には留意が必要。



3 被災者の状況

- ・行政職員が配置された大規模な避難所に加え、集落・地区ごと集会所や自治会長宅等への自主避難も数多く。
- ・飲料水や食糧は充足。電気復旧が進み、概ね落ち着いている。
- ・上下水道が復旧しておらず、入浴、洗濯、掃除等の要望。
- ・金沢市等への避難が始まっている。



4 今後の課題

- ・効率的な被災者状況把握方法の検討（物資・健康・情報提供等の混成チーム結成等）
- ・情報収集能力の弱い被災者への対応（支援情報ポスターの作成、避難所への掲示等）
- ・被災家屋の撤去・片付けの本格化とともに、膨大な震災ゴミの処理
- ・高齢避難者が多く、今後、被災住宅の片付け、生活再建に課題（ボランティア派遣等）